

	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現
記載事項	【大阪都市計画区域マスタープラン(R2.10)】 ・都市再生緊急整備地域に指定されている地域については、都市の活性化に資する国際的な中枢業務機能、学術・研究機能、文化・芸術・交流機能、健康・医療機能、商業・宿泊機能、情報発信機能、居住機能等の多様な都市機能の導入を図ります。また、民間の創意工夫が最大限に発揮されるよう、都市再生特別地区等の指定による土地利用規制の緩和等を積極的に活用する。等 【大阪のまちづくりグランドデザイン(R4.12)】 ・大阪のシンボルであり、国際観光拠点でもあるみどり豊かな大阪城公園を中心に、にぎわいの創出や回遊性の向上を図るとともに、大阪公立大学を先導役とした多世代・多様な人が集い交流する国際色あるまちづくりや、駅周辺における魅力ある複合的な国際拠点の形成を推進し、観光・文化・学術・産業の融合エリアの形成をめざす。等	【都市開発事業】 ○完了 ・京阪神OBPビル新築工事(京阪神OBPビル)(R3.4竣工) ・大阪・大手前一丁目プロジェクト(R5.12竣工)等 ○事業中 ・大阪公立大学(仮称)森之宮学舎整備事業(R7.3竣工予定) ○未着手 ・(仮称)イオン京橋開発計画(未定) ・(仮称)イノベーション・コアゾーン開発計画①・②(未定) ・(仮称)京阪京橋駅周辺開発計画(未定) 【公共施設整備】 ○事業中 ・京橋公園(R7.3工事完了予定) ○未着手 ・歩行者デッキ(未定)	○人口(地域内) ・6,027人(H24)→6,864人(R6) :約114%(市区全体:約104%) ○世帯数(地域内) ・3737世帯(H24)→4,537世帯(R6) :約121%(市区全域:約116%) ○地価(地域内) ・約66.1万円/㎡(H24)→121.2万円/㎡(R6) :約183%(市区内商業地平均価格:約286%)

項目別評価	上位計画及び関連計画で示された方針が、都市再生緊急整備地域としての地域整備方針に落とし込まれており、今後のまちづくりの方向性が明確に示されている。	市開発事業や公共施設整備が進捗している。今後も予定されている事業がある。	人口、世帯数、地価等において、都市再生の効果の発現が全ての指標で確認できている。
総合評価	上位計画、関連計画で示す方向性に沿って、都市開発事業や公共施設整備が進捗している。また、今後も地域内の各地で多くの都市開発事業及び公共施設整備が見込まれているため、引き続き事業を推進する必要がある。		⇒ 地域指定を継続